

H24.10.31
倶知安町

北海道新幹線ルート

3 倶知安町を取り巻く状況と道路網について

○倶知安町を取り巻く状況

- ①新幹線駅開業（H47）
- ②倶知安IC開業（H〇〇？）
- ③花園リゾート開発（H40予定）

○新幹線開業後の道路網の検討

【高規格道路】

- ①横断自動車道（倶知安IC）

【国道】

- ①国道5号
- ②国道276号
- ③国道393号

【道道】

- ①倶知安ニセコ線
- ②蘭越ニセコ倶知安線
- ③京極倶知安線

【町道】

- ①岩尾別南線
- ②西3丁目南通
- ③西2丁目、西大通、公園通

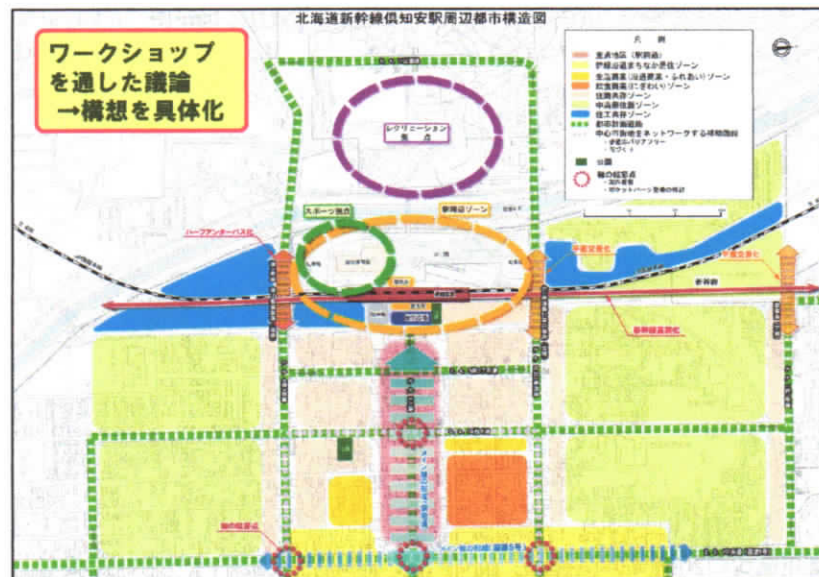
倶知安町における道路ネットワークの概要



※新幹線ルート、倶知安ICの位置は、想定のもと、記載しております。

4 駅周辺のまちづくり構想図について

北海道新幹線倶知安駅周辺整備構想図（平成18年12月策定）



5 中心市街地の現況と課題

(1) 駅前広場の現在の状況(写真)

- 駅前広場**
- ・面積：2,800㎡
 - ・バスバース：2台
 - ・タクシーバース：3台、タクシープール：9台
 - ・一般乗降場：3台、一般車駐車スペース：11台
 - ・駐輪スペース：約80台
- 道南バス敷地**
- ・敷地面積：約2,700㎡
- 駅前公園**
- ・公園面積：約1,250㎡
 - ・町営駐車場：17台



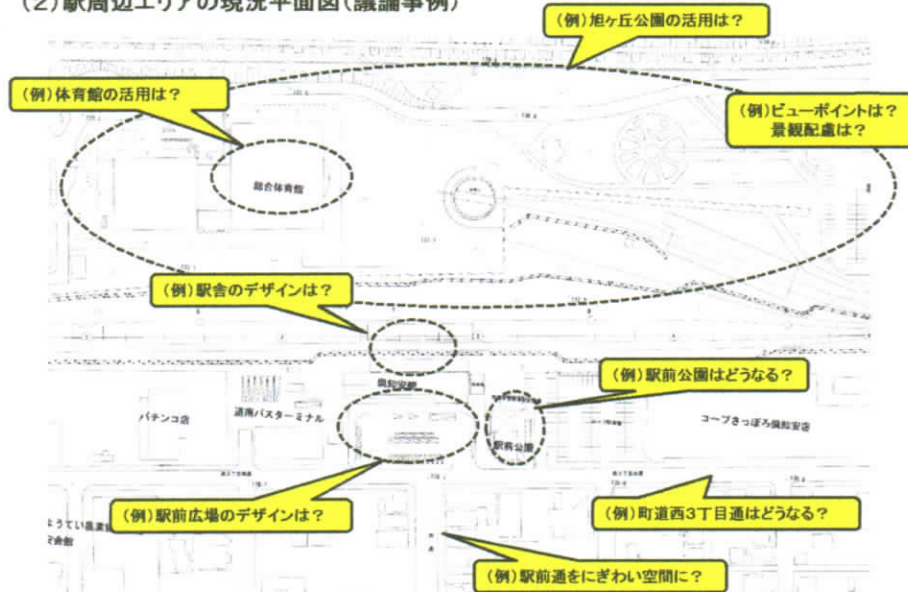
倶知安駅周辺現況写真

現状の駅前広場は・・・

老朽化(S43施工)
段差・傾斜・穴ぼこ・路面トラブル
観光意識の欠如(標識不足等)
バリアフリー化されていない歩道
少ない駐車場・送迎スペース等・・・

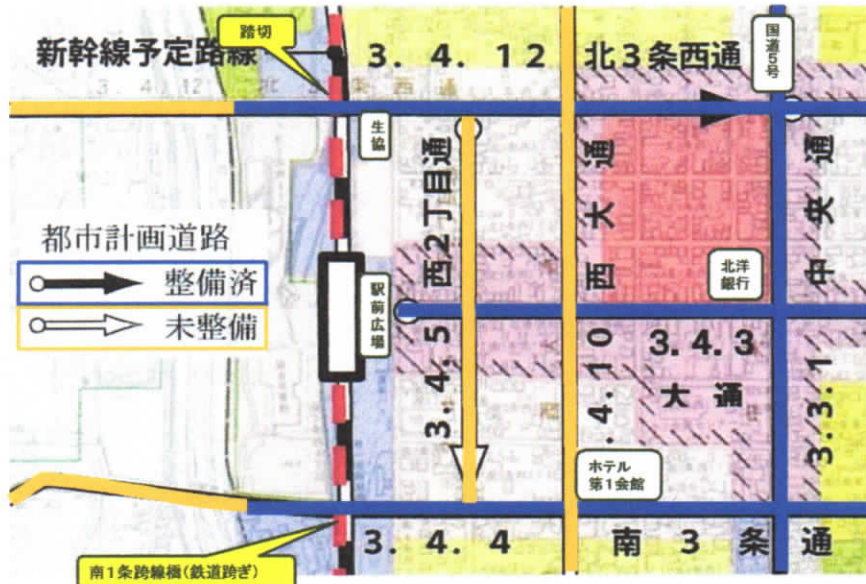
5 中心市街地の現況と課題

(2) 駅周辺エリアの現況平面図(議論事例)



5 中心市街地の現況と課題

(2) 駅周辺の都市計画道路の現在の状況



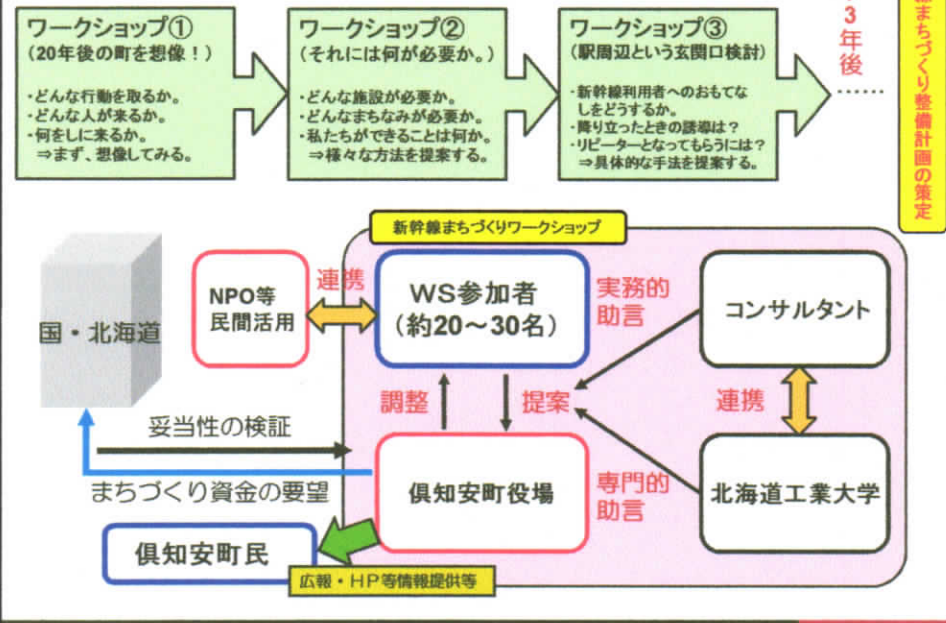
6 町民主体のまちづくりについて

(1) まちづくりの手法比較(従来型と住民主体型)

	従来のまちづくり	住民主体のまちづくり
特徴	① 住民→行政への「陳情」型 ② 公共事業によるハード整備 →定住人口の増加を目指す	① 住民→行政への「提案」型 ② 公共事業に囚われないソフト整備 →交流人口、活動人口の増加を目指す
プロセス 方向性	行政等への陳情・要望 →地方自治体の補助金要望・活用 →大型公共事業の執行 →自治体の借金の増 道路はできたが、人が来ない	住民と行政の議論 →まちづくりに必要な公共施設への投資 →公共事業+市街地活性化ソフト施策 まちに人を呼び込むことを優先 公共事業が主役とならないまちづくり
施行事例	① 都市計画道路、公園等の整備 ② 市街地再開発による大型ビル等整備 →公共施設を優先、まちづくりが副次的	① 空き地・空き店舗の有効活用 ② 町民活動を活用したまちおこし活動 ③ 住民・行政協働のまちづくりデザイン検討 →まちづくりに必要な公共施設を検討
推進方策	① 陳情・要望活動による公共事業の推進 ② 公共施設等ハード主体の補助金活用	① ワークショップ、パブリックコメント等活用 ② NPO、まちづくり会社という民間活力検討 ③ 地域資源を生かした観光事業への投資

6. 町民主体のまちづくりについて

(2) 町民主体のまちづくりを目指す



7. ワークショップを通じたまちづくり施策の構築イメージ

